



由良町公民館だより
2024 春号
令和 6 年 4 月 1 日

- ・由良町中央公民館 (日高郡由良町網代 248-12 ☎65-2418)
- ・衣 奈 会 館 (日高郡由良町衣奈 765-7 ☎66-0921)
- ・白 崎 会 館 (日高郡由良町吹井 910-2 ☎65-3510)

「～いま・・・しあわせに生きるために～」

全盲のシンガーソングライター 堀内佳

トーク&コンサート



2月4日に、由良町中央公民館でトークとギターの弾き語りによる人権コンサートを開催しました。講師は、高知県出身で同県在住の堀内佳さんで、シンガーソングライターその他、ラジオのパーソナリティなども行い、幅広く活躍されています。

堀内さんは、胎児の頃から両目の中に癌ができ、生まれてまもなく医師から「両方の眼球をとらないと死んでしまう」と宣告されました。そのため、母親は佳さんを連れて20ヶ所余りの病院を回り、最後に

行った阪大病院で、「この子の命を守ってあげられるのはあなただけです。手術はそんなに難しくないので高知で受けてください。」と言われ、大阪から船で高知への帰路につきました。

その船中で、夜中に佳さんが泣きだしたため、みんなの迷惑になってはいけないと思い、船の甲板に出て、泣き止ませようと必死にあやしたりしましたが泣き止みません。

その時母親は、夜の暗い海を見ながら「この子は一生目が見えない。そんなつらい人生を送るくらいなら、いっその海に飛び込んで死んでしまった方が楽かも…。但し、ひとりで死んだらこの子は目が見えないから、あの世に行ってもずっと道に迷い続ける。だから私も一緒に逝って、天国まで道案内をする。それがこの子を産んだ私の責任だ。」そんな風に考え、海に飛び込む前にもう一度息子の顔を見ておきたいと振り向いた瞬間、にこっと笑っていたそうです。

その笑顔を見た母親は、はっと我に返り、さっきまで思いっきり泣いていた子供が、今こんなに笑っている。一生目が見えないことが、どんなに辛い事か今はわからないが、「おかあちゃん僕生きているんだよ」という事を笑顔で伝えている。この子の道案内をするのはあの世じゃない、この世で素敵な人生を歩んでいけるようにする。それがこの子を産んだ私の役割なんだと思い直し、「ごめんね」って何度も何度も泣きながら佳さんを抱きしめて謝ったそうです。

この話を16歳位の頃、「お前の笑顔が二人の命を救ったんだよ。もしあの時、にこっとした笑顔がなかったら二人の命はなかったんだよ。」と初めて聞いたそうです。

それから高知に帰って、1歳になる前に両方の眼球を取る手術をしました。

裏面に続く



※ここに記載の他、多数の新刊図書が入っています。

中央公民館

【一般書】

- ・その日まで (瀬戸内 寂聴)
- ・夜明けの花園 (恩田 陸)
- ・彷徨う者たち (中山 七里)
- ・二人キリ (村山 由佳)
- ・秘密の花園 (朝井 まかて)
- ・江戸咎人逃亡伝 (伊東 潤)
- ・北辰の門 (馳 星周)
- ・答えは旅の中にある (小手鞠 るい)
- ・水脈 (伊岡 瞬)
- ・うたう (小野寺 史宜)
- ・チワワ・シンドローム (大前 粟生)
- ・きらん風月 (永井 紗耶子)
- ・仕事の辞め方 (鈴木 おさむ)
- ・ぼくは青くて透明で (窪 美澄)
- ・錠剤F (井上 荒野)

【児童書】

- 「数え方のえほん」
- 「そらまめくんの」

衣奈会館

【一般書】

- ・ワケあり式部とおつかれ道長 (奥山 景布子)
- ・闇に染まりし、闇を祓う (はやせ やすひろ)
- ・君が手にするはずだった黄金について (小川 哲)
- ・あなたが独りで倒れて困ること 30 (太田垣 章子)
- ・余白の迷路 (赤川 次郎)
- ・慕じまいラプソディ (垣谷 美雨)
- ・しあわせの輪 (群 ようこ)
- ・風に立つ (袖月 裕子)
- ・異国の味 (稲田 俊輔)

【児童書】

- 「おまえうまそうだな」

白崎会館

【一般書】

- ・ザリガニの鳴くところ (ディリア・オーエンズ)
- ・慕じまいラプソディ (垣谷 美雨)
- ・ともぐい (河崎 秋子)
- ・まいまいつぶる (村木 嵐)
- ・襷がけの二人 (嶋津 輝)
- ・君の背中に見た夢は (外山 薫)

【児童書】

- 「大ピンチずかん2」
- 「ちいかわ 47 都道府県クイズで学べる地理の本」
- 「ちいかわ とっておきのナゾトキ」
- 「ちいかわ6」
- 「かんがえるカエルくん」
- 「もりの100 かいだてのいえ」
- 「109 ひきの どうぶつかくれんぼ」

保育園の頃は、石を投げられて怪我をしたり、目の中に砂を詰め込まれたこともありました。

この時は、目が痛いというよりも胸の奥の方を驚づかみされたような、苦しい何とも言えないような感覚になって、我慢できずに飛びかかっていこうとした瞬間、その様子を見ていた母親が「何するつもり？本当にかわいそうなのはあんたじゃないよ。言葉でからかわれ、石をぶつ



けられ、目の中に砂を詰め込まれたあんたより、もっとかわいそうなのは、自分より弱い立場の人を見つけて、あるいは、自分より不自由な部分や弱い部分をもっている人を見つけていじめたりからかったりして喜んでいる、そんな人達のほうがずっとかわいそうだよ」と佳さんに言いました。

その時は4歳の頃で、母親の言葉を理解できるはずがなく、「なんで守ってくれなんだん」と、ものすごく反発したそうです。「自分の子供が目の中に砂を詰め込まれて痛くない親なんかいないですよ。見ていた母親の方が、何百倍も痛かったと思います。自分の息子が、人をいじめて喜ぶような人間にならないように守ってくれたと思います。」と話していました。

父親からは、「障害者として生きるな。みんなのやさしさに甘えていたらダメだ。」と、磯釣りや山登りなどいろんなことにチャレンジさせ、厳しく育てることによりハンデを克服して、前向きに生きていけるようにと教えられたそうです。

他にもまだ掲載したいことがあります。紙面の都合上端折ります。

堀内さんはギターを左右反対に持ち、一番細い1弦と太い6弦が上下逆さまにした状態で弾いていました。誰からも教わることなく、また、全盲のために持ち方もわからず、持ち方を聞いたときには、他人とは違った自分流の弾き方で、一生懸命やることによって、自信が持てるようになったと言っていました。

弾き語りは「笑顔の花」や、幼少に故郷を離れた時の思いを込めた「回想-円行寺口駅にて-」ほか数曲を歌われ、プロのシンガーソングライターの歌声が心に響きました。

最後になりますが、このトークの中で、「笑顔の大切さ」「父母の毅然とした子育ての姿」「形にとらわれず自分流を貫く姿」など大切なものを改めて考えさせられ、心に残るものがありました。

子ども未来塾のお知らせ

*由良町中央公民館

小田 享子先生

寒川 明子先生

*衣奈会館 衣奈小学校

坂田 悦子先生

*白崎会館

岩崎 一也先生 です。

4名の先生方が、分かりやすく勉強を教えてくださいます。

小学生の皆さん、一緒に勉強しませんか。



【由良町中央公民館】

毎週土曜日
午前9時30分～
午前11時30分

【俳句】

独り居の鬼も仲間よ豆撒かず

上本 郁子

蓮華座の地蔵に泌むる雨二月

大谷 武美

芽木騒ぐ風呂の谷とや漁師町

片山 綾子

仏壇に母が供へるバレンタインチョコ

川口 夏生

生まれ来し君二粒の豆撒きす

小谷 かおり

笛吹かぬ鳶輪を揚げ沖霞む

小山 ひとみ

棟梁のはしく墨縄つばき東風

坂田 妹子

冬深し思ふ様には手が利かぬ

高橋 義巳

初咲きの乙女椿を雨が触れ

竹中 桃代

囀りや書架より抜いて鳥図鑑

田淵 佳根

根を出しぬ活けて置きたる猫柳

広瀬 峰雄

立春や雉猫のゐる停留所

藤田 薫

日向ぼこ日向残して別れたる

山下 治子

大西風や大根畑まで波迫る

吉村 美恵子

この町をつらぬく川や堤焼く

北岡 ゆみ



消防訓練

2月14日(水)由良町中央公民館において消防訓練を実施しました。

2階炊事室からの出火を想定し、通報訓練として館内の利用者に周知するとともに、消防署に火災と避難状況などを通報しました。

当日、館内を利用された方につきましては、ご協力ありがとうございました。終了後、職員が消防設備等の使用方法など確認しました。

白崎会館、衣奈会館についても、翌15日に同様の訓練を行いました。



【通報訓練】



【避難訓練】

〔4月～6月の行事予定〕

【由良町中央公民館】

*山野草展示会

4月20日(土) 21日(日)

*由良町文化協会

ゴールデンウィーク展

4月27日(土)～

5月5日(日)

新年度も実施します

*太極拳教室

毎月第2・第4金曜日

午前10時～午前11時30分

講師 平林 実香先生

*書道教室

毎月第2日曜日

午後1時～午後3時

(自由な時間にお越しください)

講師 小谷 嘉舟先生



【太極拳教室】

詳しいことは、由良町中央公民館へお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしています。

